

白山の火山活動解説資料（令和6年10月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過していましたが、11月4日（期間外）に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2の地震が発生した後、一時的に地震活動の高まりが認められました。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・ 地震や微動の発生状況（図3～図5）

今期間、白山付近の地震活動は低調に経過していましたが、11月4日の19時21分（期間外）に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2の地震が発生し、岐阜県高山市で最大震度2を観測しました。その後、山頂付近のやや深部を震源とする地震の増加が一時的にみられましたが、11月5日の13時以降、6日23時の時点で特別地震回数は0～3回まで減少しています。



図1 白山 山頂部の状況
(10月22日 白峰監視カメラによる)

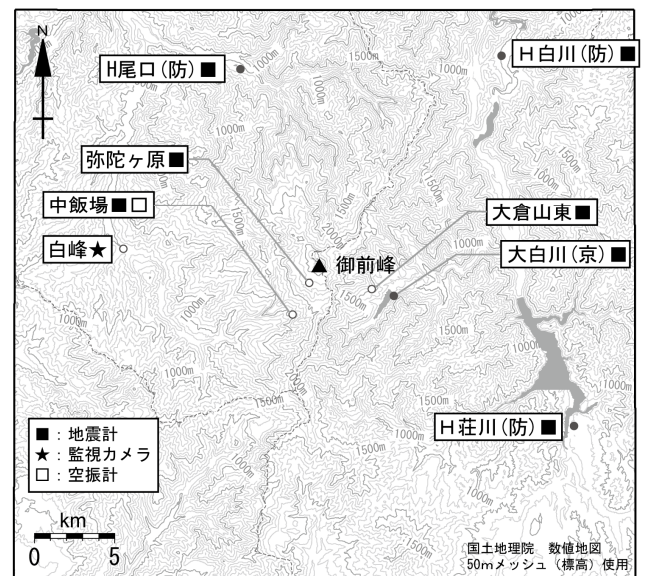


図2 白山 観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和6年11月分）は令和6年12月9日に発表する予定です。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

地震回数の計測基準：弥陀ヶ原 上下動振幅 $1.0 \mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間 1.5 秒以内
ただし、欠測等の場合は代替点（中飯場、大倉山東）により計数しています。

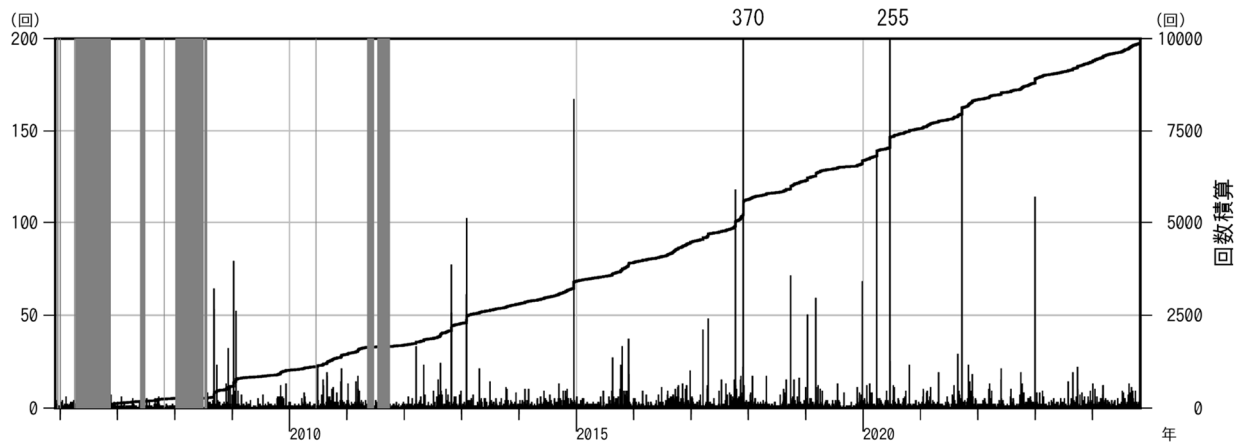


図3 白山 日別地震回数と積算回数（2005年12月1日～2024年10月31日）

図の灰色部分は機器障害による欠測期間。

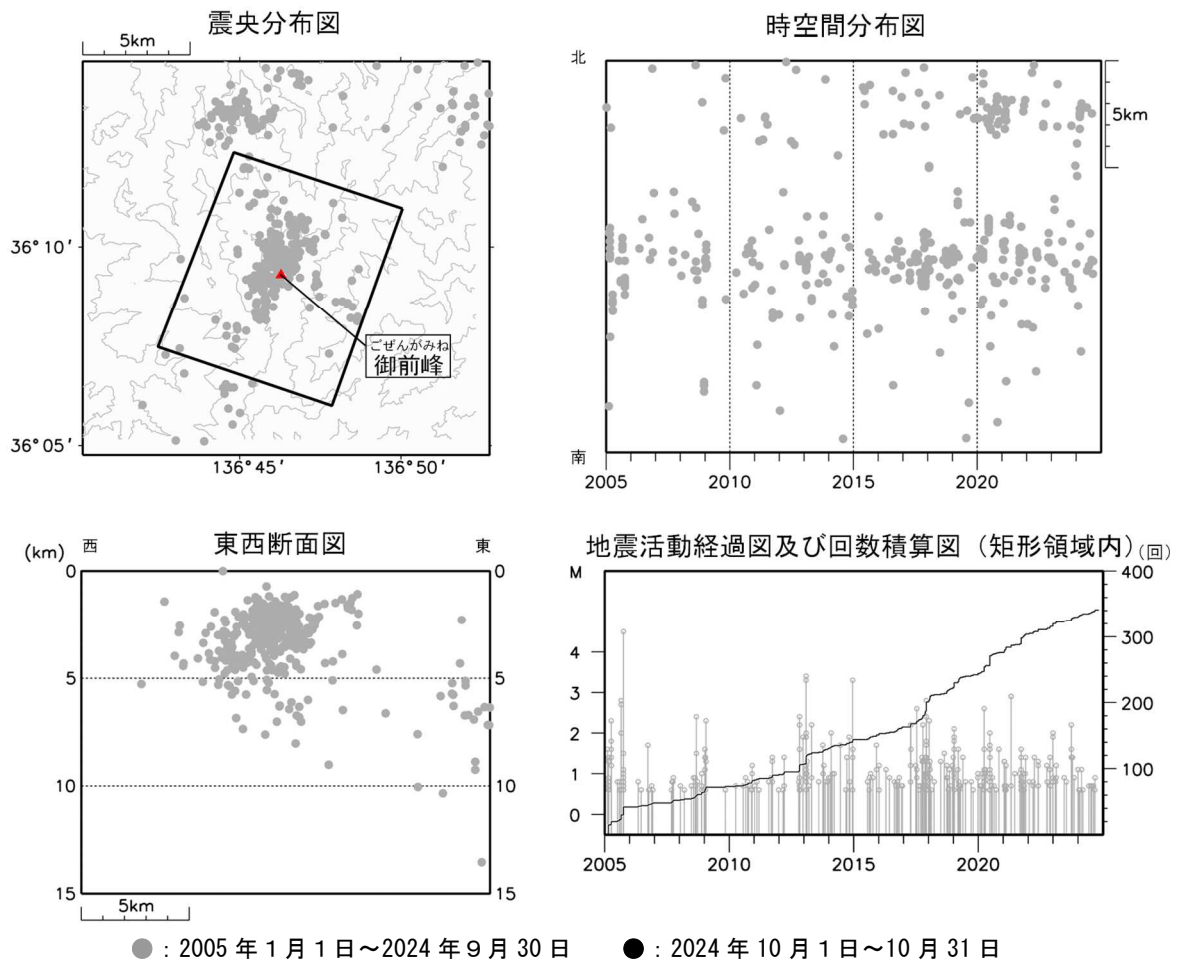


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2005年1月1日～2024年10月31日）

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6以上の地震を表示しています。

図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。

この図では、関係機関の地震波形を一元的に処理し、地震観測点の標高を考慮する等した手法で得られた震源を用いています（ただし、2020年8月以前の地震については火山活動評価のための参考震源です）。

・今期間、白山付近の地震活動は低調に経過し、震源が求まる地震はありませんでした。

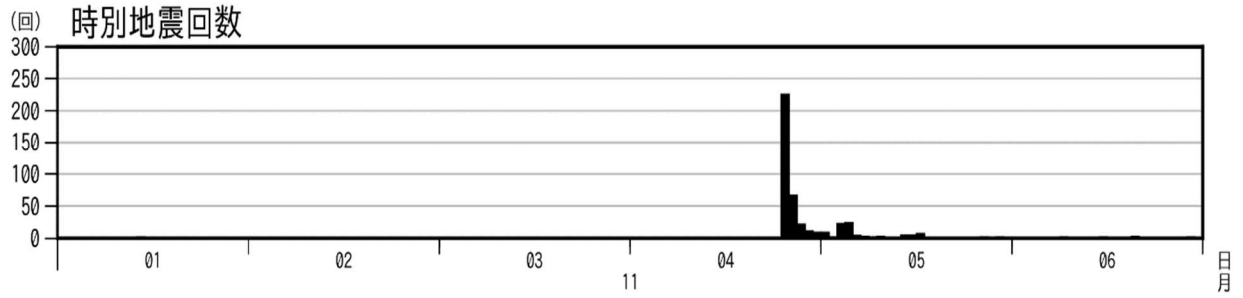


図5 白山 山頂付近のやや深部を震源とする地震の時別回数（11月1日～6日（期間外））

- ・ 11月4日の19時21分に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2の地震が発生し、その後、地震回数の一時的な増加がみられ、4日の19時台には225回観測されました。
- ・ 5日の13時以降、6日23時の時点で時別地震回数は0～3回まで減少しています。